

安全データシート

SDS No. : 10004J-GC

作成・改訂 : 2015/06/03

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : Descaler 1000
会 社 名 : 信和化工株式会社
住 所 : 京都市伏見区景勝町 50 番地 2
担 当 部 門 : GC チーム
電 話 番 号 : 075-621-2360
F A X 番 号 : 075-602-2660
化学物質等のコード : OT-1
緊急連絡電話番号 : 同上

2. 危険有害性の要約

《水酸化カリウム (KOH)》

G H S 分 類 : 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 1
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分 1 (呼吸器系)

GHS ラベル要素:



注 意 喚 起 語 : 危険
危険有害性情報 : 皮膚刺激
重篤な眼の損傷
臓器の障害 (呼吸器系)

注 意 書 き : 【安全対策】
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
【救急処置】
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理して吐かせないこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

《有機酸ナトリウム塩》

G H S 分 類： 分類できない

有 害 性： 皮膚に対する刺激性はほとんどない。粉塵を大量にすると有害である。
経口毒性は低いが大量に摂取すると、有害である。不快感、腹痛、下痢、
吐き気等の症状がでる恐れがある。

環 境 へ の 影 響： データなし

物理的及び化学的危険性： 通常の取扱いでは危険性は低い。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物（水溶液）

化学名	含有量	化学式	CAS No.	官報公示整理番号
水酸化カリウム	25 %	KOH	1310-58-3	1-369
有機酸ナトリウム塩	20～30 %	-	-	-

危険有害成分： 水酸化カリウム

4. 応急処置

- 吸 引 し た 場 合： 新鮮な空気のある場所に移し、安静に努め、直ちに医師の手当をうける。体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水で洗い流す。希酢酸水（0.5～2%水溶液）でぬるぬる感がなくなるまで洗う。さらに水で洗浄し、速やかに医者への処置を受ける。
- 目に入った場合： 直ちに多量の水で15分以上洗い流したのち医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： 卵白を混ぜた牛乳、多量の水を飲ませる。吐かせない。直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の処置

- 消 火 剤： 不燃性であるため、周囲火災に適した消火剤を用いる。
- 特定の危険有害性： 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特定の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク、建物の冷却をする。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- 消火を行う者の保護： 消火活動は、風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項： 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者の以外立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
- 環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 除 去 方 法： 適当な保護具を着用してできるだけ回収する。場合によっては希酸で注意深く中和し、その後大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 眼、皮膚への接触を避ける。酸性物質との接触を避ける。

注意事項： 容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の粗暴な扱いをしない。吸湿性および炭酸ガスを吸収するので使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

安全取扱い注意事項： 吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉保管する。

安全な容器包装材料： ポリエチレン

8. 暴露防止措置

設備対策： 粉塵が発生する場合は発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を表示する。

管理濃度

作業環境評価基準： 設定されていない

許容濃度

OSHA PEL： 設定されていない

ACGIH TLV(S)： Ceiling, 2mg/m³; KOH

日本産業衛生学会： 最大 2mg/m³; KOH

保護具

呼吸器の保護具： 防毒マスク、空気呼吸器

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 保護眼鏡（ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具： 保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

形状： 液体 沸点： データなし

色： 無色～淡褐色・透明 融点： データなし

臭い： 無臭 引火点： 不燃性

pH： 強アルカリ 発火点： 不燃性

比重： データなし 蒸気点： データなし

爆発限界： データなし

溶媒に対する溶解性： 水、アルコールに易溶。

オクタノール／水分配係数： データなし

10. 安全性及び反応性

安定性： 空気中の水分・炭酸ガスを吸収しやすい。

反応性： アルミニウム、すず、亜鉛などの金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発する恐れがある。

避けるべき条件： 湿気、熱、日光、炭酸ガス

危険有害な分解性生物： データなし

11. 有害性情報

製剤としてのデータはない。水酸化カリウムについて記す。

《水酸化カリウム》

急性毒性： 経口/ラット/LD50：273gm/kg
局所効果： 眼刺激： ウサギ 1mg/24H 中程度
皮膚刺激：ウサギ 50mg/24H 重度
変異原性： データなし
発がん性： データなし

12. 環境影響情報

残留性／分解性： データなし
生態蓄積性： データなし
生態毒性： 強アルカリ性のため水生生物に有害な影響を与える可能性がある。

13. 廃棄上の注意

水を加えて希薄な水溶液とし、希塩酸で中和した後、大量の水で希釈し排水する。
中和によって溶解している物質が析出する場合があるので、取り除いた後に排水する。

14. 輸送上の注意

国連番号： 1814
品名： 水酸化カリウム（水溶液）
国連分類： クラス 8（腐食性物質）
容器等級： P G II
海洋汚染物質： 非該当
注意事項： 輸送前に容器の破損、腐し、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法： 非該当
毒物及び劇物取締法： 劇物 包装等級 II
労働安全衛生法： KOH: 法第 57 条の 2(令第 18 条の 2)名称等を通知すべき有害物 No.316
船舶安全法： 腐し、よく性物質
航空法： 腐食性物質
海洋汚染防止法： 施行令別表第 1 有害液体物質 Y 類物質
化学物質管理促進法（PRTR 法）： 非該当

16. その他の情報

引用文献： 産業中毒便覧
国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 化学工業日報社
14303 の化学商品 化学工業日報社
化学物質規制・管理実務便覧
原材料メーカーの製品安全データシート
製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

本製品安全衛生データシートは、現時点において得られた情報をもとに作成していますが、かならずしも万全なものではありません。取扱いには十分注意して下さい。